

地域自慢

ひみつがたくさん竹原神社

小美玉市立
竹原小学校

3学年の総合的な学習の時間において、自分たちの住んでいる地域のよさについて調べました。

竹原神社とアワアワ祇園

わたしたちの学校がある小美玉市竹原という地域には、竹原小学校から北西約500mの場所に「竹原神社」があり、「アワアワ祇園」というめずらしい名前の祭りが行われています。竹原神社の由来やアワアワ祇園について紹介いたします。

1645年に園部川上流の旧大谷村に伝染病が流行りました。それは大谷村の牛頭天王が人を食うからだとのうわさが広まりました。大谷村の人たちは怒って、牛頭天王のご神体の金の幣束を大谷村の園部川に投げ捨ててしまいました。それが下流の上郷という地区で見つかりました。村長は、神の怒りを恐れて、洗い清め、たき火をたいてかわかしてからほこらを建てて奉りました。その後、祭礼の前にしめ縄を張ると、必ず人が死ぬと言われたためこの牛頭天王は「人食い天王」と言われるようになりました。明治6年に鹿島神社といっしょになって、竹原神社と呼ばれるようになりました。

現在の竹原神社の祭礼では、渡御の始まりのときに御輿を川の水で洗い清めます。その時、口に手の平を当てて「アワアワ」と声を出しながら神輿に水をかけます。そのため、「アワアワ祇園」とも言われています。また、「アワアワ」は水に浸った寒さのためにできた「鳥肌」だとも言われています。たき火は、寒さを和らげるという意味もあるそうです。通り沿いの家で小麦藁束を燃やし、御輿はこの火の中をもみ歩く習わしがあります。



羽黒古墳と竹原小学校遺跡

小美玉市文化財です。竹原小学校から南方に約400mに分布しています。長さ67mの前方後円墳。とても大きなもので、園部川の地域を支配した豪族のお墓と考えられています。古墳時代（4世紀後半）の古墳です。また、竹原小学校内からは7軒の縦穴住居跡や土師器なども発見されました。それらの一部は本校職員玄関に展示してあります。



竹原あじさい祭り

現在は小美玉市になりましたが、以前は美しい野の里と書いて、「美野里町」という名前でした。その名の通り、竹原神社には美しいあじさいが咲きます。60種類、1400株のあじさいはとても見事です。



【調べた感想】

最初は、竹原神社はなぜ伝説となったのかが不思議でした。しかし、調べ学習を進めるうちに、「神様はずっと昔に川に捨てられてしまい、しばらくしてから川に捨てた人たちが『ごめんなさい』と謝り、神様の御輿を洗ってあげた。」という話を聞き、疑問に思っていたことを知ることができました。また、あじさいは、最初は3種類くらいで60株くらいしかないと聞いていたけど、60種類で1400株ということを知り、とても驚きました。羽黒古墳は現在のお墓と違って、すごく大きなお墓だと思いました。今回の学習を通して、自分たちの住んでいる地域についてのよいところがたくさん見つけられて嬉しかったです。